

## 総合的な学習の時間 「ふくして何？」

横須賀市立追浜小学校



### 単元（題材）目標

- よりよい福祉社会をつかっていくために、思いやりや助け合いの気持ちをもつことの大切さに気づくことができる。
- 様々な人の生き方にふれる活動を通して、自分自身を見つめ直し、共に生きるために、自分たちにできることを考え実践しようとする。

(1) 実施時期 11月下旬

(2) 対象（学年等・人数） 第4学年 23名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年担任1名 支援学級担任1名

外部講師：よこすかボランティアセンター講師2名



(4) 実施内容

① 講演会：「聴覚障がいについて」

- ・聴覚障がい者の方に、日常生活で困ることについて実体験を聞く。
- ・聴覚障がい者の方がどんな工夫をして生活しているかを聞く。

② 手話体験

- ・講師（聴覚障がいの方）、ボランティア（通訳者）
- ・簡単なあいさつ（おはよう、こんにちは、こんばんは、ごめんなさい、ありがとうなど）
- ・手話に関する基本的な知識
- ・指文字による五十音の表し方
- ・手話での拍手の仕方

(5) 成果

- 表現の仕方が言葉だけではなく「口話・筆談・手話・表情・ジェスチャー」など様々な手段でコミュニケーションがとれることを学び、理解を深めた。
- 手話に興味を持ち、2分の1成人式では手話歌に挑戦することができた。
- まとめとして福祉新聞を作ることでお互い感じたこと共有できた。

### 【児童のお礼の手紙より 感想】

耳が不自由な人の気持ちを改めて感じることができました。手話はその字の通り、手だけで話すことだと思っていましたが、顔も大事だと言うことが分かりました。今後も手話を練習してみたいと思います。